

chapter 2

# 猫



この子猫たちは、最近、実際に役場に届けられた子たちです。幸いにも飼い主が見つかり引き取られていきました。しかし、引き取り手が見つからないまま、残酷な運命を辿ってしまう猫たちは、悲しいことですが、実際に多くいます。

犬や猫などのペットは現代人の心を癒し、心を豊かにしてくれる存在として多くの人々に飼われています。

しかし、その一方で、心ない一部の無責任な飼い主もおり、近隣とのトラブルや迷惑なども多く発生していることも事実です。

ペットを飼う人は愛情と責任を持って、他人に迷惑をかけない飼い方をする必要があります。

しつけの行き届いた犬と生活することは、あなたにも犬にとっても幸せであるとともに、人と動物が共存できる潤いのあるまちづくりにもつながることなのです。

## 人と犬との良い関係を築こう

犬は群れで行動し、リーダーを中心とした社会を形成します。飼い犬にとっては、家庭が群れであり、飼い主や家族が犬のいいなりになっていると、犬が「自分がリーダーなんだ」と自覚してしまい、飼い主の言うことを聞かなくなってしまう。これを権勢症候群といいます。このような関係になってしまわないために、飼い主が犬の本能を良く理解し、しつけを行って、人間社会において幸せに暮らせるよう、飼い主が犬のリーダーになりましょう。

## 犬の本能を知ろう

犬と一緒に生活するため、あるいはしつけや訓練をして楽しむときにも、犬の本能や習性、考え方を理解する必要があります。犬の本能・習性とは次のようなものがあります。

- 群棲本能—群れをつくりまします。
- 権勢本能—リーダーになろうとします。
- 服従本能—リーダーに従おうとします。
- 警戒本能—なわばりをつくり守ろうとします。
- 防衛本能—群れなどを守ろうとします。
- 監守本能—獲物を取られないように守ります。
- 闘争本能—必要とあれば戦います。
- 帰家本能—家に帰ろうとします。

chapter 1

# 犬



犬との良い関係を築くためには、これらの本能を良く理解し、利用してしつけを行うのが効果的であるといえます。

役場本庁町民課では、犬のしつけ方を分かりやすく説明した読本を備えています。飼い主さんは、一度町民課までご相談ください。

## のしつけ

世界的に都市化が進むと猫が増えるといわれていますが、現在日本でも約771万頭を超える猫が飼われているといわれており、その数は年々増え続けています。

これは犬の場合にもいえることですが、主な理由として、少子高齢化・核家族化が進んだことで、人々が心の安らぎを求め、生活に潤いを与える存在としてペットを飼い、心のよりどころにしているようです。

また猫は、ペットでありながらもなお野性的な側面を残し、人々にこびない自由気ままなところが、魅力を感じる要因にもなっているようです。

しかし現在、飼い猫の増加と並行して、捨て猫・野良猫も大幅に増加しています。飼い主の方は、自分の猫も地域社会の一員であることを認識して、相応の責任も負っていることを自覚し、猫の生態や習性などを正しく理解して、となり近所や地域に迷惑がからないよう務めることが大切です。

## 猫の習性を知ろう

肉食動物の中で猫類は最も狩りに適した動物といわれ、食性は肉食性で植物は原則食べませ

## のしつけ

ん。しかし、家猫は長い人間に飼われてきたので、多かれ少なかれ雑食性の傾向があります。猫の行動範囲は犬に比べてはるかに小さく、主として自宅とその周辺程度が行動圏です。しかし去勢されていないオス猫は行動範囲が広く、メス猫の分布状況によってはかなり広い地域を行動圏にしていることもあります。猫は自分の縄張りには尿や分泌物をつけて印しますが、これら情報交換は相手を知って無用な争いを避けることにつながっています。

## 飼う前に、家族で話し合って

- あなたの住まいや周囲の環境は猫を飼うのに適していますか？
- 猫の寿命は10年以上。将来のことも考えていますか？その間、変わらぬ愛情と責任のもとに、近隣に迷惑をかけない終生飼育ができますか？
- 猫を不幸にしない、不幸な猫をつくらないという心構えはありますか？
- 子どもたちの要求に押し切られていませんか？毎日の食費だけでなく、病気をしたときの治療費、予防注射、不妊・去勢手術の費用のことは考えていますか？

のちの不幸な猫を増やさないためにも、ご家族で良く話し合ってから飼う飼わないを決めてください。

町民課では猫についての読本も備えていますので、一度ご相談ください。